

山行番	NO. 1662-2
日時	2015. 10. 31 (土) 晴上部霧、一時小雨
山域	雲取山 (2017m・日本百名山・東京都最高峰)
コース	下土狩発 4:00—御殿場—大月—R139—奥多摩湖—お祭り—片倉ゲート発 6:48—奥多摩山荘 10:46—雲取山 11:40~12:19 (昼食・休憩)—三条ダルミ 12:40—三条の湯 14:12 (泊)
標高差	上り=片倉ゲート駐車場約650m~雲取山2017m=約1367m 下り=雲取山2017m~三条の湯約1100m=約917m
参加者	CL後藤、室伏、沖、秋山、勝又陽、小松、峰田、浜道、土屋=9名

## 雲取山は雲の中だった・・・

4:10に新潟運輸下のバス停で今日の土狩班参加メンバー全員が乗車完了し、三島班との合流場所へ向けスタート。裾野大橋医院の横を少し過ぎた脇道から見慣れた白い車が前に侵入してきた、グットタイミング!

三島班の車ではないかとパッシングの挨拶をしたが無反応。少し疑問を抱きながら合流地点の裾野エース付近に、三島班と思っていた車は、そのまま速度を緩めることも無く先へ行ってしまった?勘違いかと思い、合流地点付近のホテル駐車場の入口に停車して、三島班を待つことに。・・・ムムムム反対車線を先ほど三島班の車と勘違いしたと思っていた白い車がホテルの駐車場に、なんと三島班だった。

合流確認の軽い挨拶を済ませ、東京都の最高峰(百名山)の雲取山へ向けスタートとなった。翌日確認すると、パッシングの原因は会話に花が咲き、合流地点を過ぎていることに気がつたとの話でした。・・・疑問が解けました。

東富士五湖⇒河口湖IC⇒大月IC⇒R20からR139の暗く、狭く、曲がりくねった道を約1時間。順調にクリアして奥多摩湖を渡り青梅街道の湖畔にてトイレ休憩。青梅街道のお祭りという地域から後山登山口を探すのに、少し時間が掛かったものの、片倉ゲート手前駐車場にはR139の道路整備(直線が長い松姫トンネルが最近出来た)のおかげも有って予定より、約一時間も早く到着することが出来ました。

登山準備、朝の挨拶を済ませ三条の湯に泊まるという楽しみ、着替え、プラス飲み物を詰め込んだザックを背負い登山を開始した。

林道から程よく整備された登山道(さすが東京都かな)は高低差が少なく歩きやすく、落ち葉の絨毯を踏みしめた。ヨモギ尾根からは紅葉のベストシーズンを満喫することが出来た。奥多摩小屋を過ぎると一気に、標高を稼ぐが如く急登となり呼吸がハア、ハア、ハアと苦しいながらも小雲取山から雲取山の頂上に11:40到着。

頂上は東京と山梨、埼玉の都県境にあることで山頂表記が2本(3本ではなく)有りました。時々日差しが射しこんでいた天候も山頂に到着する頃には小雨がばらつき、自慢の展望も霧の中だった。昼食は寒さをしのぐため、雲取避難小屋の中で取ることとなった。

昼食を済ませ12:30に小雨の中、避難小屋からの下りは落ち葉のカモフラージュで下の状況

を確認することが出来ずに滑ること、石で足首を捻らないように注意するのと荒れた箇所が有る登山道を慎重にかつ三条の湯に飛び込むが如く、一気に下山した。

14:12、三条の湯山荘に到着し受付を済ませ、10人部屋に9人で宿泊するために各自、寝床の準備を始めると、重くて息苦しくなってしまうような掛布団にびっくり！

休むこと無く、汗と小雨の寒さで冷え切った体を温めるため温泉に入った。【温泉にゆっくり、のんびりは浸かるカラスの行水（早く）は入る？】

（温泉にTさんは浸かって、その他のメンバーは入ったのが正解かも？）山小屋の温泉は石鹸の使用禁止だが、ヌルとして効能も有り体の芯から温まり、汗臭さも解消でき、さっぱり・ポカポカで最高だった。

【三条の湯の紹介された説明・・・岩盤の割れ目から水温10℃ 毎分5リットルを自噴している】

調べてみると温泉法の定義では源泉が25℃以上もしくは、指定物質を1種類でも有すること。

・・・ちなみに温度が25℃以下の温泉を冷泉又は鉱泉と呼ぶ事がある。

夕食の順番が第2弾とのことが有った訳でもなく、食堂でも、部屋でもザックの重かった飲み物とつまみを堪能し、まったりタイムとなりました。ザックの荷物が軽くなった頃に、夕食の呼び掛けが有り早速食堂へ。食堂前の2か所のかまどで、お湯と大きなごはん釜による直火炊きした、おこげのごはんと鹿の肉をメインに美味しく頂いた。

朝の早さと山行疲労（標高差↑1367m、↓917m）により就寝時間の9:00まで待つことも、明日の天気を気にすることも無く、記憶が無くなり一日目の山行が無事に終了。

・・・ご苦労様でした。

#### その他の記述（後藤）

1. R139は、畑倉集落付近以外は快適。トイレは、お祭りに向かう、奥多摩湖にある。
2. お祭りから後山川林道入り口は、分かり難い。
3. 林道は入り口が荒れている。中は案外イイ。片倉ゲート駐車場は、川側と山側にある。
4. ヨモギ尾根は長い。下降ルートに適している。道標は完璧。自然林が素晴らしい。
5. 石尾根は凄い人。半ズボンの女性ランナーもいた。
6. 雲取山頂少し南の記念写真撮影場所が、山梨県を含む都・県の三国境。
7. 避難小屋は、温かく清潔で有難かった。裏にトイレ完備。
8. 三条ダルミから、三条の湯は、自然林が素晴らしい。一箇所登山道、崩壊場所あり。





赤が素晴らしい



ヨモギ尾根



雲取山頂上



避難小屋







避難小屋西の三国境



三条の湯



小屋でくつろぐ



おわり